

てん菜の収穫 高台地区で始まる

稔りの秋も深まり、洞爺村の畑作の基幹作物であるてん菜の収穫が高台地区で十月下旬から本格的に始まりました。高台地区では、長芋の収穫を残して、豆類や馬鈴薯の収穫もほぼ終わり、十月二十日

頃から、雨天を除いて連日、ビートハーベスターでのてん菜の収穫が行われていました。香川地区の巻進さんの畑でも、今年約六ヘクタールにてん菜を作付けしており、十月二十日、収穫作業が始まっています。

葉を切り落とした後に、ビートハーベスターで収穫したてん菜は、畑の端に積み上げられていました。

また、作柄も、去年並みの収量、糖度が期待できそうとのこと。



収穫されたてん菜が積み上げられていく

秋の交通安全教室

洞爺保育所こぐまクラブ

十月十三日、洞爺保育所で秋の交通安全教室が行われました。

こぐまクラブは、幼児と保護者で構成される交通安全ルールを学ぶ集まりで、洞爺保育所では年三回の活動を行っています。

ています。

今回は、交通ルールのビデオ鑑賞を行った後、保育所グラウンドで、伊達警察署の協力を得て、プラカード式の信号や、紙製の自動車などを使い子どもたちに、交通ルールの大切さを学んでもらいました。

模擬体験の後は、ご褒美として、参加した子どもたち全員がパトカーに乗せてもらい、はじめての体験に目をキラキラさせていました。



青信号です、手を上げて横断歩道をわたりましょう



ご褒美にパトカーに乗せてもらう

芸術の秋

児童生徒作品展

十月二十九日から三十一日までの三日間の日程で、総合センターにおいて児童生徒作品展が行われました。

村内の全小中学校と高校から児童生徒たちの絵画、習字、自由作品（粘土、工作、洋服など、約四百点の力作が展示され、訪れた人たちは、子供たちの数々の作品を鑑賞していました。